

3000万人署名 各地でこんな取組みが——⑩

東京都 「品川総がかり行動実行委員会」は、統一署名行動を毎月続けている。7月21日夕方には武蔵小山駅パルム商店街入口で14団体、24人が参加、88人の署名で新記録。「日本の国難は災害」、「アメリカからの武器購入をやめて税金の使い道を変えよう」、「ウソを重ね、悪法を強行する安倍政権は退陣」と呼びかけ。韓国から引き継いだキャンドルは6月は4本、7月は6本に増え、『真実は沈まない』の歌も即興で披露。を引き継いで街頭宣伝。

千葉県 「戦争させない1000人委員会・いちかわ」は、6月28日行徳駅前、7月3日は枝提唱行動」として下総中山駅前で街宣署名行動。3日の行動には13人が参加、署名は45人。また、第1回各戸訪問署名お願い行動で4人が84軒を訪問、在宅47軒中、13人が署名。その中で「私は改憲に賛成だが、安倍の下での改憲には反対」と署名してくれた人もいるが、実感としては、改憲論議は市民の間に浸透していない。同会の世話人会は、「手紙での友人・知人への依頼、駅頭署名行動への参加、ご近所への依頼、各戸訪問署名お願い行動への参加」など「ありとあらゆる方法で署名を拡大し、改憲発議阻止へ！」と呼びかけている。

東京都 「デモ&スタ@せたがや」は7月9日、相談会を開き、①学校前スタンディングは、学生が足を止めてくれ、対話がしやすいのでシール投票中心に取り組んでみよう、②チラシを独自に用意し、ティッシュも配ろう、③正門前より場所はずらした方が良い、④下北沢お散歩デモは、リレートークと3000万人署名→商店街のお散歩デモとして続けよう、⑤学校前で続けてきたスタンディング・スピーチは、ぜひ続け、駅頭など区内のいろんな場所に広げたい、など相談。

岐阜県 多治見市の「どもならんNO!安倍政権!パレード実行委員会」は7月21日、JR多治見駅前に「9条守れ」「戦争あかん」のパネルを掲げ、「9条守れ」のポケットティッシュを配って署名を呼びかけ、「日本一暑い多治見市から全国に熱い声を届けよう」、「野党は共闘、市民も共闘」とコール。参加者は約30人。

富山県 「『戦争する国』づくり反対共同行動実行委員会」は7月21日、富山市で炎天下にスタンディングアピールと署名行動。共産党、社民党、高教組、平和運動センター、県労連、自由法曹団、オールとやま県民連合なども訴えた。

三重県 「憲法を守り生かすみんなの会・津」と「憲法共同センター・みえ」は7月21日、津市のセンターパレス前で宣伝・署名行動、猛暑の昼休みに12人が参加。署名した女性(78歳)は「安倍さんは一方的、自分のことを考えているだけ」、戦争体験がある女性(88歳)は「戦争でひどい目にあった。憲法9条は守るべきで、安倍政権は変わるべき」と。

青森県 「安倍改憲NO!全国3000万人署名青森県民の会」は7月30日、ねぶた祭りに向け活気づく青森市内の商店街で宣伝署名行動。12人が参加。市内の女子高生は、「うまく言えないけれど…戦争する国になるのは絶対にいや。自衛隊に入る男子は多いけれど、就職先が少ないからだと思う。9条は平和憲法と名前がついているので変える必要はないと思っています」。また、観光に来ていた高校生と中学生の姉妹がそろって署名、「おとなが一所懸命に憲法を守ろうとしているのがうれしい。私たちの未来のことを考えてくれてるって伝わります」。同県民の会は8月1日にも青森市内の商店街で署名行動、14人が参加。それをじっと見ていた女性(60)は、「『平和のため』という言葉は安倍さんや自民党は使う。改憲に賛成する署名もあると聞いていたから、どちらなのか確認したくて聞いていた」と語り、対話ののち署名。

広島県 「第九条の会ヒロシマ」が呼びかけた意見広告の報告より；「8・6新聞意見広告2018を

朝日新聞に掲載しました。安倍9条改憲『皆さん、それでいいの?』と多くの人に考えていただきたいと思って、タイトルを『改憲のその先に何が見えますか?』としました。本日(8・6)朝7時から原爆ドーム前で、意見広告カラー版と『市民による平和宣言』を配布し、グラウンドゼロのつどいを行いました。帰ってみると、『安倍9条改憲NO』に賛同します。署名を送りますというメールが届いていました。電話でも、改憲NOだけでなく、安倍政権はもう続けられては困ると切々と訴えられ、中には賛同金を送りたいとの声も聴かれました」(要旨)。

カナダ カナダ滞在中のNRさんからの報告；「バンクーバーの(8月初旬の)今週末は、アニメフェス、LGBTQのプライドパレード、花火大会と重なったうえでのパウエルストリート(日系)祭でした。この地域は昔日本人街のあったところで、今でも古い日本語学校があり、42回目を迎える今年もかなりの人出がありました。高齢化が著しいバンクーバー9条の会の講演会は懸念されたが、何とか実現。3000万署名の横断幕も練馬から送られていて、英文の署名用紙も全国市民アクション事務局で用意があったので準備万端。来場者は途切れることがなく、初日は500人以上が来訪(9割が日本人以外)。ほとんどが日系カナダ人かカナダ人(雑多人種)で、署名への反応はいま一つでしたが、安倍はトランプと同種の人物という説明が有効だったよう。若手スタッフが広島原爆サバイバーのサチさんの体験談の後に、安倍による改憲で日本がまた他国への加害、戦争による悲劇を繰り返すのではないかと声を詰まらせて、平和への思いを広げてほしいと会を締めくくった時に、教室を埋めていた人たちにその思いが確実に伝わったとジンとしました。署名数は日本語版56筆、英語版41筆、計97筆でした」(要旨)。

「バンクーバー9条の会」の報告から；「秋の自民党総裁選で安倍首相が再選されることは濃厚です。みなさん、向こう3年間は活動の手を緩めることができません。5月に決めた『やれる人がやれるときにやれることをやる』、これでいいので、バンクーバー9条の会を盛り上げていきましょう」(要旨)。

東京都 「戦争はいやだ調布市民の会」は8月9日、心配していた台風13号も退散し、午前中の田上長崎市長の平和宣言に励まされ、16時から調布駅頭で街宣署名行動。うんざりするような炎天猛暑が戻ってきたが、参加者は久びさの35人の賑わい。ヒロシマ・ナガサキ73年、日本は核兵器禁止条約の批准を、翁長沖縄県知事を追悼し意思を継ごう、平和のプロセスに反対する安倍政権を許していいのかなど訴えは多岐に及んだ。署名は72人で多いとは言えなかったが、あちこちで対話がはずみ、勢いを取り戻しつつあると実感できた(「伝言板」489号より)。

***** これらの情報は、個人からのメール、各団体・政党などのニュース、機関紙などで知らされた各地・各団体の動きを編集したもので、具体的な出典や報告者の名前は割愛しています。ご了解ください。